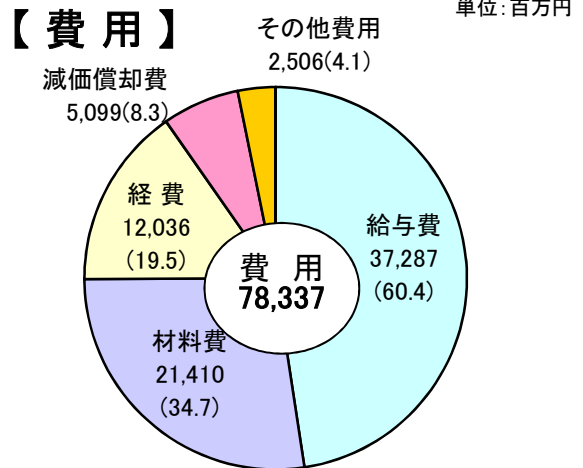
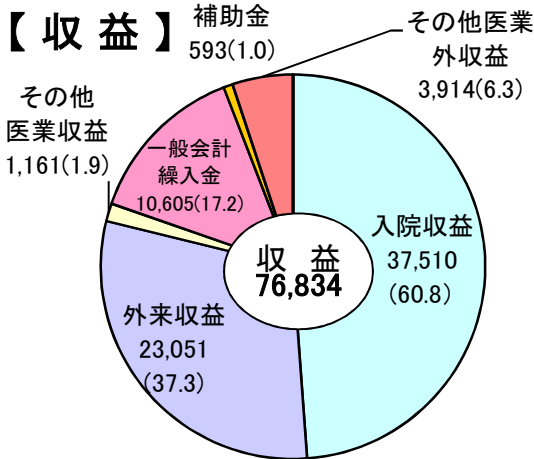


## 令和5年度当初予算原案、「新潟県病院事業の取組方針」に対する客観的評価について公表しました！

### 1 予算原案の概要

できる限りの収益向上と費用縮減を図った上で、不採算医療等について一般会計からの繰入を見込んだ見積もりとなりました。前年度に引き続いて赤字予算での編成であり、規模としては令和元年度と同程度となっています。

#### 収益的収支



※カッコ内は医業収益合計を100とした場合の比率

#### <当初予算推移(収益的収支)>

(単位:百万円)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
総収益	74,911	75,250	75,949	76,834
うち医業収益	61,314	59,415	59,781	61,721
うち繰入金	10,212	10,281	9,768	10,605
総費用	76,166	76,175	76,055	78,337
うち給与費	37,779	37,487	36,777	37,287
うち薬品費	14,679	14,563	14,755	15,149
うち診療材料費	5,733	5,721	5,623	5,770
純損益額	△ 1,255	△ 925	△ 106	△ 1,504

#### <主要指標>

	R3年度決算	R4年度当初	(R4年度見込)	R5年度当初
延べ患者数	1,764千人	1,814千人	1,749千人	1,814千人
うち入院患者数	648千人	678千人	640千人	680千人
うち外来患者数	1,116千人	1,136千人	1,109千人	1,134千人
病床利用率	73.8%	75.5%	72.4%	75.3%
入院単価	54,071円	52,767円	55,014円	55,201円
外来単価	19,193円	20,054円	20,408円	20,320円

## 2 主な取組

### (1) 医療サービスの向上

- 診療機能の維持向上（医療器械備品の整備等） 1,766百万円
  - ・磁気共鳴断層撮影装置（MRI）の更新（がんセンター）
  - ・医療情報システムの更新（全病院）
  - ・ガンマカメラシステムの更新（中央病院）
- 医療・療養環境の整備、病院機能維持 982百万円
  - ・コージェネ設備冷却塔更新(新発田病院)、非常用発電設備更新(がんセンター) 等
- 医療提供体制の整備 515百万円
  - ・吉田病院改築に係る調査 等

### (2) 経営体質の強化

- 医師の確保・充実 1,043百万円
  - ・医師確保対策の推進  
（民間紹介事業者の活用、寄附講座の実施、医療クランクの配置拡充等）
  - ・臨床研修、専門研修の受入強化 等
- 看護師等の確保、専門・認定看護師等の育成 77百万円
  - ・看護師養成学校等への積極的なPR
  - ・認定看護師養成研修、専門・認定薬剤師養成研修の充実
  - ・看護職員養成施設の教員養成 等

## 3 新型コロナウイルス感染症への適切な対応

- 感染症の流行の状況等に応じ、感染症指定医療機関（中央病院、新発田病院）を中心に、感染患者及び感染疑い患者の入院受入などに対応  
※ 感染症指定医療機関以外も、感染が疑われるかかりつけ患者の診療等に対応

## 4 経営改善に関する緊急的な取組等

- 経営改善に関する緊急的な取組（令和元年11月策定）  
経営改善に向けて緊急的に取り組む事項を整理し、可能なものから速やかに実行  
＜令和5年度の主な取組＞  
収益の向上
  - ・診療体制の効率化による高度医療等の提供（新規加算獲得など診療報酬に反映）
  - ・地域連携強化等による病床稼働率の改善費用の縮減
  - ・職員給与の臨時的削減
  - ・人件費の適正化、医療材料費及びその他費用の縮減

- 県立病院の役割・あり方や機能・規模の見直し
  - ・持続可能な医療提供体制を確保していくため、各病院が具体的に果たすべき役割や運営主体を含めたあり方、機能・規模の見直しに向け、関係者と意見交換等を行いながら、取組を着実に進める  
（公立病院経営強化プランの策定、加茂病院・吉田病院の指定管理移行準備など）

## 緊急的な取組による収支改善(令和5年度見込)

(単位：百万円)

項目	効果額	備考
<b>収益の向上</b>	<b>1,468</b>	
○診療体制の効率化による高度医療等の提供 (新規加算獲得など診療報酬に反映)	830	中央、がんセンター、新発田、十日町、加茂、妙高、松代、津川、吉田
○緩和ケア病棟の運用	255	がんセンター、加茂
○稼働率改善の取組	260	十日町、坂町、松代
○料金規程の継続的見直し	123	

費用の縮減	1,795	
○人件費の適正化	721	
・配置職員数の適正化	527	
・手当の適正化 など	194	
○職員給与の臨時的削減	538	
○患者数に応じた病床規模の適正化	384	吉田、加茂、精神医療センター
○医療材料費の縮減	152	
○その他費用の縮減	—	

<b>収益と費用の合計(収支改善額)</b>	<b>3,263</b>	
------------------------	--------------	--

【備考】R1～4年度の取組でR5年度に効果が継続するものを含む

## 病院事業会計収支の試算(一定条件に基づくR5予算時試算)

	H29 決算	H30 決算	R1 決算	R2 決算	R3 決算	R4 見込	R5 当初	R6 試算	R7 試算	R8 試算	R9 試算
医業収益	580	580	596	563	576	590	617	641	650	650	650
医業費用	707	721	734	715	725	761	764	807	820	820	820
医業損益	▲127	▲141	▲138	▲152	▲149	▲171	▲147	▲166	▲170	▲170	▲170
経常損益	▲6	▲14	▲10	2	17	▲9	▲15	▲25	▲26	▲26	▲26
一般会計繰入金	128	134	143	135	135	144	146	146	146	146	146
資本金(▲債務超過)	▲4	▲21	▲33	▲29	▲11	▲20	▲35	▲60	▲86	▲112	▲139
資金不足比率%(▲不足)	-	▲2.8	▲2.0	1.2	5.5	7.3	7.1	2.6	▲2.3	▲6.8	▲11.3
内部留保資金(▲不足)	23	5	8	27	58	70	72	45	14	▲15	▲44

R5当初

→現時点でR8に内部留保資金が不足する計算となっており、引き続き収支の改善が必要です。

# 令和3年度を取組状況に対する客観的評価

令和5年1月19日に県立病院経営委員会が開催され、「新潟県病院事業の取組方針」の令和3年度取組状況の評価について取りまとめられました。新型コロナウイルス感染症流行下での県立病院の患者対応等について高評価をいただきました。

評価項目	客観的評価	主な委員コメント
<b>1. 医療機能等に関する事項</b>		
① 県民から信頼される病院づくり調査	○	県立病院の信頼性について、点数には表れないが、新発田・中央病院が病棟を転換して新型コロナ患者を受け入れるなど、新型コロナに対する県立病院の取組は評価されてよい。
県立病院の信頼性		
うち過去3年以内利用者の信頼性		
職員満足度		
病院機能評価認定病院数		
② 研修教育機能〔基幹型臨床研修病院〕	○	新型コロナウイルス感染症流行下において、次年度初期臨床研修医採用予定者数が昨年度比4人の増加は、かなり評価できる。魅力あるプログラムを提供し、医師を確保する目的を達成している。
次年度初期臨床研修医採用予定者数		
学生等の病院実習受入数		
学生等の病院見学受入数		
<b>2. 収益的収支に関する事項</b>		
① 経営指標の状況（医業収支比率）	○	経常収支比率が100%を超えたことは評価できる。
② その他経営指標の状況	○	新型コロナウイルスの影響もあり、入院患者は減っているが、入院診療単価は各病院群でいずれも目標値を超えており、これはより高度な医療を必要とする患者が多く入院した結果と考えられる。
経常収支比率		
職員給与費対医業収益比率		
病床利用率		
入院診療単価		

※客観的評価とは、県立病院経営委員会の医療や経営について識見を有する委員による新潟県病院事業の取組方針に対する評価。十分な成果がある(◎)、一定の成果がある(○)、成果があるが不十分(△)、あまり成果がない(×)の4段階で行う。

## 3. 総合評価（客観的評価）

### <経営改善>

- ・病棟を転換して新型コロナ患者を受け入れるなど、新型コロナ感染症に対し、県立病院は県民の安全・安心の確保に向け対応したと評価できる。
- ・信頼される病院づくりのための調査において、住民から新型コロナ対応に対する感謝の意見が複数寄せられているとともに、地域の福祉施設等から対応に混乱した際に、病院から指導があり助かったとの話も聞いており、新型コロナ対応について信頼がおける対応を行ったといえるのではないかと。
- ・BSCはしっかり作れば、職員のモチベーションも上がり病院が全体的に盛り上がると思うので、各病院で有効に作られるよう、運用してもらいたい。
- ・総務省が示した公立病院経営強化ガイドラインに基づく経営強化プランの策定に活かすため、BSCは、因果関係の連鎖で地域医療構想と繋がり、結果、県民に安心を与えていくというストーリー立てをした方がよい。

### <県立病院の役割・あり方>

- ・指定管理者制度への移行について、病院局として、地域住民への説明などの取組を積極的・継続的に行われたい。

【詳細はこちらから】 <https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/byoinkeiei/20220328keiei.html>